

一位不動は容認できない

3回も繰り返しその都度同じ業者



柿崎屋内水泳プール 改修工事などの入札

6月議会には、「柿崎屋内水泳プール大規模改修工事」「スポーツ公園野球場照明設備更新工事」の契約案件が上程されています。

こうした契約の際には、市によって入札が行われ、制限価格の範囲内で最低価格を入札した業者が落札します。今回のこの2つの案件の入札は、「屋内プール」は5月9日、「野球場照明」は16日に行われましたが、いずれの案件も制限の範囲内の応札がなかったことから、それぞれ3回もの入札が行われました。ところが、その3回の入札のいずれも、同一業者が最低価格の応札を行うという実に不思議な現象が記録されました。

このように一位入札が同じ業者によって行われる現象を「一位不動」といい、「談合」を疑う際の目安の一つでもあります。

この現象から直接「談合」と決めつけるわけにはいきませんが、非常にまれな現象であることから、自治体によってはいったん入札を取り止め、綿密な調査を行うところもあります。また、国土交通省でもこうしたまれな現象が起きた際にはしっかりと調査するよう注意喚起を行っています。

一方、中川市長は就任の際に、公共工事では談合が疑われるようなことのないよう万全な注意を持って入札に当たることが表明していました。

これら工事の契約案件は、文教経済常任委員会で審議されましたが、所属する上野議員は、「極めて不自然な入札結果であり、綿密な調査なしにそのまま契約する」とした提案は不適切だ」と指摘して、反対しました。

仮に入札で「談合」が行われているとすれば、不当に高価な価格で入札が行われることになり、市民の貴重な税金が無駄に使われることになり、上越市では年平均約100億円の工事が行われていますが、その落札率が仮に不当に5%高いとすれば、毎年5億円もの無駄遣いになります。無駄遣いを無くすため、そして何よりも公正公平な入札を行ってどの業者も誠意ある工事を行えるようにするために、談合の疑念のある入札を放置せず、徹底的に調査するなどの取組が必要です。

3月議会で継続審査になり、今議会で再度審議されました。

3月の請願提出以来、請願した市民グループが世論を喚起する中で、学校などではかなり丁寧な指導をするようになりました。しかし、完全な徹底まではまだまだ時間がかかりそうです。何よりも、こうした人権に配慮した指導は、常に意識して取り組んでいくことが重要です。

したがって、この請願は、無条件に採択されそうなものです。

ところが審議では、賛成は上野議員と小林議員(政新)のみで、多くの会派は「その後改善が図られているので、請願は賛成できない」という不可解な意見などで、不採択となりました。

またもや、市民の切実な願いが届かない結果となりました。



多くの市民・野党駆けつけ 森ゆうこさんの再選誓う

11日午後、リージョンプラザを会場に、400人の市民が集う中で、参院選を前にした「森ゆうこ総決起集会」が行われました。

米山隆一衆院議員、遠藤れい子、小山芳元両県会議員、市民連合の馬場秀幸代表、立正佼成会の島田稔氏、それに上越・妙高両市から日本共産党議員団の3人をはじめ7人の市議会議員が応援に駆けつけ、それぞれに力強い応援のメッセージを寄せました。

森ゆうこさん自身も「今回も権力

との壮絶なたたかいとなる。(異常な)物価高のなかで年金を引き下げるような政治ではダメだ。先進諸国の中でこの30年間、給料が上がらなかったのは日本だけ。岸田インフレから国民生活を守ろう。(自民党は、ロシアの)ウクライナ侵略を契機に、いけいけどんどんでおかしな国にしようとしている。こんな政治を許してはならない。どうしても勝たなければならない。ぜひご支援を」と、熱の入った決意表明を行いました。

市民の声届かず 「多様な考え方や選択の 尊重」求める請願を不採択

日本共産党上越市議員団ニュース

No.753 2022年6月19日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

16日に行われた市議会文教経済常任委員会で審議された「上越市の子どもたちの心身の健全な成長、発達のための教育活動を求め、それにかかわる多様な考え方や選択を尊重することを求める請願」は、学校などでマスクを着用できない子どもがいることから、マスクを着用していない子どもの意思を尊重し、差別や圧力が生じないように指導してほしいという内